

日の丸の起源と日教組

JJ1SXA/池

戦後の日本人としてのアイデンティティを否定された、日教組の主導する教育の下で育った人達や日の丸を掲げ、戦争に突入して行った時の暗い思いを抱いている人達の中には、日の丸を掲げることに、個人の思想・信条に反するとして反対する人がいますが、そんな人達は、太平洋戦争の前後や戦後の期間だけでの判断では無く、もっと長いスパンで、日の丸の歴史を知ってもらいたい。

太陽を表すとされる日の丸は、太陽信仰から生まれたものと一般的に解釈されているが、古事記などに見られる日本神話、その中心的存在である天照大神のイメージとともに語られてきました、やがて「日出づる処」、つまり「日ノ本」の国という概念が出来上がっていったと思われまます。

この太陽信仰や「日ノ本」の国という意識が具体的に記載されている文献を探すと、「続日本紀」(797 年)の中にある文武天皇の大宝元年(701 年)の朝賀の儀に関する記述で、正月元旦、儀式会場の飾りつけに「日像」の旗を掲げたとあります、これが日の丸の原型で最も古いものといわれています。

現在の日の丸の旗が正式に採用されたものとしては、「薩摩藩主島津斉彬が 1853 年 11 月に幕府に大型船・蒸気船建造申請を行ったときに、日本船の総印として、白い帆に太陽を象徴した、白地に朱色の日の丸の使用を求め、日の丸を日本全体の総印とするように進言し、これにより幕府もその必要を認めて、1854 年に日の丸を日本全体の総印とする旨を、全国に布達した」と言う説もあります。

…1854 年、薩摩藩が建造した昇平丸が江戸の品川に入港したとき、日の丸が揚げられ、これが、わが国の船印として揚げられた最初のできごとだった、それから日の丸は貿易の際、外国に対して日本の標識として必要不可欠なものとなっていったと…

しかしそれ以前に、現在の通常郵便切手の初期のものとして、第1次昭和切手といわれる切手の中に昭和 12 年 5 月に発行された、五厘切手に日の丸の旗を掲げた紫色の「御朱印船」が鮮やかに描かれています。

豊臣期から徳川の鎖国令までの間に行われた御朱印船貿易、その船の船尾には、日本の船籍を表すものとして「日の丸」の旗が立てられていたのです。

御朱印船は、16 世紀末から 17 世紀初頭にかけて日本の支配者の朱印状(海外渡航許可証)を得て海外交易を行った船を言い、朱印状を携帯する日本船は当時日本と外交関係があったポルトガルやオランダ船や東南アジア諸国の支配者の保護を受けることができました。

これが、江戸時代になって幕府は「日之丸御城米積船」の旗印を、名前にもある通りに「日の丸」としています、正式には前記のように、1854 年に「日の丸」は島津藩の進言もあり幕府によって日本の総船印とされたのです。

勝海舟で知られる、開国後初めて太平洋を渡った咸臨丸は、この「日の丸」の船印を船尾に翻して、堂々サンフランシスコに入港しました。

「日の丸」は、西欧文明への扉を開けた時に、対外的に日本の国を表すシンボルとして自然に掲げられたのです。

当時の日本人には「日の丸」反対の考えなど皆無だったでしょう、これだけ歴史ある日の丸の掲揚に反対する人たちは、真の日本人かと疑問を持ちます、また、日本人としてのアイデンティティを否定する教育、自虐史観溢れる教育から、完全に抜け出してもらいたいものです。

日教組は、1947年6月、日本国憲法、教育基本法の理念普及と、階級闘争を運動方針とする統一的な教員組合として日教組を結成、マルクス主義歴史学者の羽仁五郎が代表に就任し、結成大会での宣言では、…「階級闘争」「抵抗教育」「革命運動」を実践し、日本の国号と天皇・日の丸・君が代への反対運動を行う。学童・学生に「平和教育」を施し、自虐史観を刷り込む。「広く全日本および全世界の労働者農民諸君と手を携えて我国に残存するあらゆる悪秩序と闘い、これを徹底的に打破して、豊かな民主主義教育・文化の建設に邁進することを厳粛に誓う」…と謳っています。

また、1953年、日教組のパンフレット『新しく教師となった人々に』は、次の内容が書かれています。

…「日本教職員組合の運動方針には『教育労働者として階級的立場を明らかにして闘う』と書いてありますが、われわれはそのように、日本の貧しい人々、つまり、労働者の側に立って、日本の横暴な資産階級のわがままと闘うのであります」…

1946年から約10年間は、過激な自虐贖罪教育が行われた時期で、この期間に学童・学生期間を過ごした者は、現在に至るも非常に偏った反日的思想傾向を持つとされています、中国・韓国・北朝鮮の反日教育に負けていない、一般的には、何となく嫌いという人、余り関係無いという人がいますが、上記の内容を知って欲しい。

日教組は社会党を支持し、現在は民主党を基軸に社会民主党も支持している、1989年日教組が連合加盟を決定したのに伴い、反対派が離脱、全教組(全日本教職員組合)を結成し、日本共産党を支持している。

山田宏は杉並区長在任当時、「日本の教育が悪化した原因は日教組にある」と言い、国土交通大臣に就任直後の中山成彬は、「日教組は日本のガン」と発言し、大臣を辞任させられた、その後のJNNの世論調査で、中山の発言に関する国民の反応はほぼ半分に割れ、賛否両論が拮抗する結果だったが、中山発言を否定した人達は日教組の結成時のとんでもない運動方針(…「日本の国号と天皇・日の丸・君が代への反対運動を行う」「学童・学生に、自虐史観を刷り込む」…)を知ってのことか？

(2,Oct,2013 記)